

マルコ株式会社 様

膨大な情報資産は厳重な管理の下に 操作性のよさも注目のポイント

AssetView GOLDでIT資産管理と共に抑止力も向上

ご担当者様



マルコ株式会社
総務部電算システムグループ
グループ長
渡邊 修二 氏

弊社担当営業



株式会社ハンモック
営業本部
吉武 達也

「美の総合企業」を目指して

大阪市のビジネス街、堺筋本町に瀟洒な自社ビルを構えるマルコ株式会社は、昭和53年日本で初めて女性用のメイキングランジェリー＝体型補整下着を完成させた企業である。

体型補整下着は、カウンセリングから採寸、着用の指導まで顧客とマンツーマンできめ細やかなサービスが求められるため、全国320の営業店（平成20年8月31日現在）はすべて同社の直営、スタッフも全員が正社員でお客様の対応にあたっている。商品はブライダル向けやミドルエイジ向けなどさまざまなセグメント、ニーズに合わせた体型補整下着のほか、ストッキングや基礎化粧品、ダイエット食品、特定保健用食品など女性の美容と健康をサポートする商品をそろえ、トータルに女性の美を支える「美の総合企業」を目指して業界をリードしている。

メタフレームで個人情報情報はセンターに

全国の営業店には商品発注や入金データの入力などに使用するクライアントPCがそれぞれ3台ずつ配布されている。また、各地方には営業店を統括する支部が20数カ所置かれているほか、協力工場、物流センター、データセンターと大阪市中央区の本社を合わせると、クライアントPC台数は約1300

台にも登り、取り扱うIT資産やその情報量は相当な規模である。

専用サーバと各クライアントPCはインターネットVPNで接続、メインのシステムはデータセンターに置かれ、メタフレームで構成しているため、各クライアントPCには個人情報のデータなどが保存されない仕組みになっている。

内部統制の観点からこれらの資産情報を管理する必要性が高まっていた。AssetView GOLD導入以前もエクセルを使った台帳管理は行っていたが、1300台あるクライアントPC1台1台をチェックし、どんなソフトウェアがインストールされているかを確認することは現実問題として困難であった。そこで、情報資産を管理するとともに内部統制や情報セキュリティを強化するため、2008年5月ごろから管理ソフトウェアの導入を検討し始め、AssetView GOLDの導入に至る。その経緯について同社総務部電算システムグループグループ長の渡邊修二氏にお話を伺った。

現場での使いやすさを重視

製品の選定にあたっては管理ソフトウェアのトレンドや他社の使用しているソフトウェア、信頼性、自社の業務に適しているかどうかといったことに着

導入先企業データ

MARUKO

所在地：〒541-0048
大阪市中央区瓦町2-2-9
設立(創業)：1978年(昭和53年)4月22日
資本金：23億3272万円
従業員数：2,860名(平成20年8月31日現在)
直営店舗数：321店舗(平成20年8月31日現在)
URL：<http://www.maruko.com/>

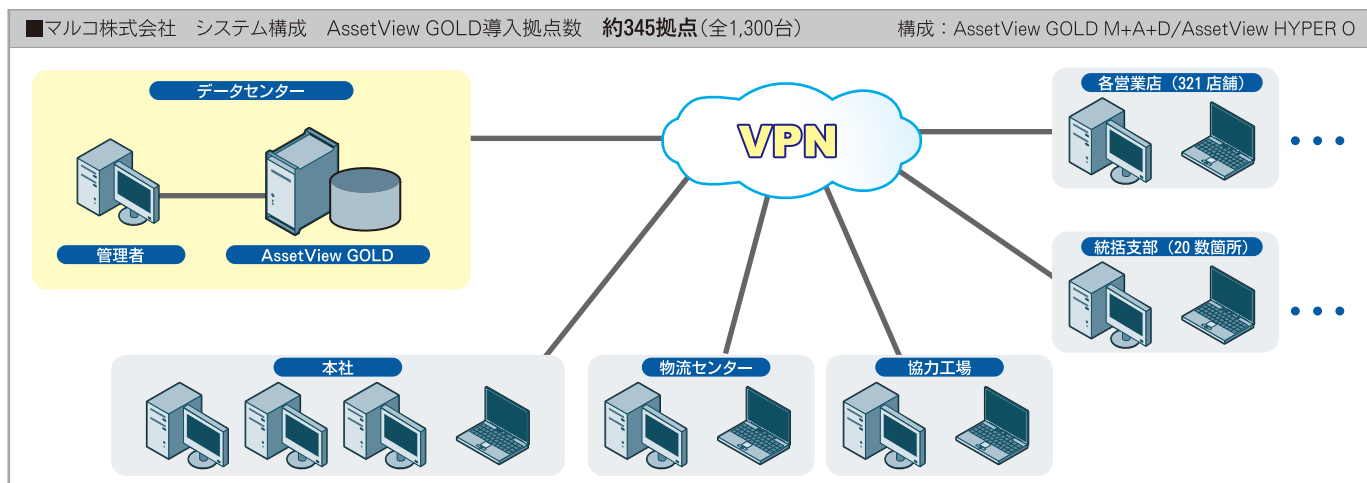
マルコは女性の生き方をサポートする企業です

女性は、キレイになるため、そして活き活きと輝くために生まれてきたとマルコは考えています。誰もが等しく美しくなる可能性と権利を持っていると。私たちは体型補整という技術の商品を通じて、お客様が本来持っているその可能性を開花させ、自分らしい美しさを発見するお手伝いをしているのです。そしてマルコは、たんに体型を整えるだけでなく、自信と誇り輝く生き方そのものをサポートしていると信じています。

リーディングカンパニーとして確かな地歩を固めた現在、長年培った体型補整概念をさらに進化させることはもちろん、マルコはさらに敏感に時代の波を読み、新たな市場を開拓し、ヨーロッパのブランドにも伍して「世界」の舞台で活躍できるよう美と健康総合コンサルタント企業として成長し続けます。そのためスタッフ一同が心をひとつにし、お客様の夢を自らの「夢」と捉えて互いに信頼し切磋琢磨し合って、新たな歴史を刻んでいきます。

事業内容：体型補整用婦人下着の製造販売、化粧品、健康食品の販売。





目して検討を進めたという。最終的に残った4社のデモ機を借り受け、同条件のもとで約1カ月をかけてそれぞれのメリットやデメリットを評価、担当者で検討を加えた結果、AssetView GOLDの導入が決定した。検討段階で最も重視したのは操作性だという。難しい操作を求められるソフトウェアでは現場での使用が長続きせず、実用に耐えないと考えたからだ。そういった問題を避けるため、最も操作が簡単だったAssetView GOLDが選ばれた。「営業店のスタッフは女性ばかりのため、中にはPCの操作が苦手な人もいます。例えば、インストール.exeをクリックしてください、というだけでも難しいと感じる人がいるので、あくまでも操作性のよいことが第一条件でした。挿入だけで自動的にインストールできるCDをサポートで用意してもらったので、営業店でのインストールも容易でスムーズでした。こういったサポート面も評価項目になりました。」と渡邊氏は当時を振り返る。

メッセージの表示で注意喚起

AssetView GOLDは、PC稼働監視／不正操作対策機能のM、重要ファイル監査機能のI、PC資産管理機能のA、ファイル配布／自動インストール機能のDから、必要な機能だけを選択して購入・利用できるのが最大の特徴である。マルコ株式会社ではM、A、Dに加えリモートコンソール機能を持つAssetView HYPER Oを導入した。

AssetView GOLD Mは操作ログを管理することによってデータの流出などがないか監視するために、AはアプリケーションやPCといったIT資産管理とアンケート機能を使った情報収集のために、

AssetView GOLD Dは効率的にインストールできる配布機能に期待して導入を決めた。AssetView HYPER OはPCに関して営業店から問い合わせ等を受けた場合、先方のPCをこちらで操作しながら対応できる点にメリットがあったという。必要な機能のみを選択することで、コスト面でもメリットを感じられたことが導入を決定した理由のひとつでもある。

各営業店や本社内のクライアントPCすべてにAssetView GOLDの導入が終了したのは2008年8月だったが、その効果は思った以上に早く現れた。社内に内部統制の観点から管理ツールによる監視を始めることを告知した後、AssetView GOLDインストール前から社員が自発的に問題のあるサイトの閲覧をしなくなったり、ゲームソフトなどを削除するなど、不適切な行動への抑止力となることが示された。

ただ、ウェブサイトへのアクセスを一律に禁じることはできないのが現状だ。

「本来、セキュリティポリシーで不適切なサイトへのアクセスは禁じていますが、何が適切で何が不適切か、線引きが困難です。特に弊社はランジェリーの会社なので『下着』といった検索キーワードが不適切とはいえないといったジレンマもあります。」と渡邊氏。

そこで同社ではウェブサイトへのアクセスを禁止するのではなく、業務上不適切と考えられるサイトに接続した場合、アクセス履歴を記録していることと業務に戻るよう促すメッセージが表示されるよう設定し、社員の注意を喚起して抑止力の向上に努めている。また、「業務に必要なウェブサイトは

部署ごとに異なるため、今後は部署ごとにグループ分けし、ウェブサイトへのアクセスに対する警告メッセージを出すグループと出さないグループを作るなど、業務に応じた活用をしていきたい。」とこれからの取り組みについても語っていただいた。

今後の課題は外部PC検知

また、外部から持ち込まれたPCの検知も今後の課題となっている。

この課題解決に最適なのが、外部PC接続対策には不正PC遮断・検知機能を持つAssetView GOLD S(2009年3月発売)である。この製品のモジュールが導入されたPCは他のPCを監視し、外部からの持ち込みPCを検知し、遮断することが可能だ。

ハンモックとAssetView GOLDは、今後もお客さまのニーズに応じて一層機能を充実させ、企業のセキュリティや生産性向上をサポートする製品作りに取り組んでいく。

取材日：2009年2月5日